

平成26年度 各郡市の研究活動報告(五泉市)

会 長 神田 武司
副会長 羽生 泰彦
評議員 神田 武司

1 研究活動の方針

- (1) 会員相互が緊密な連携・協力のもとに、研究実践を通して教育活動の解決に努め、五泉市教育の発展・充実に寄与するとともに、会員の資質向上に努める。
- (2) 五泉市小学校の学力向上を目指し、研究体制や運営を工夫して効果的な研究推進に努める。
- (3) 「かかわる同和教育」の推進に向けて、具体的な教育内容のあり方について「学び直し」をし、同和教育についての正しい認識の獲得や人権感覚を磨く機会とする。

2 研究活動の実際

- (1) 研究活動の組織について
各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の12部会、教育課程・特別支援教育等の5部会の計17部会を組織し研究活動を行った。
- (2) 各組織の活動について
ア 活動は年間4回とし、各部の研修計画に基づき、授業研究、調査活動、教材作成、実技研修等を行った。
イ 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の各部会は1回以上の授業研究を部内で行い、授業改善に取り組んだ。
ウ 国語、算数部会は、学習指導改善調査の分析結果に基づき、考える力を育成するための授業研究に取り組んだ。
エ 教育課程部は、学力向上に向けた教育課程編成及び教務主任の関与性について情報交換を行った。
- (3) 研究刊行物について
実践研究収録「研究紀要 第9号」の作成及び会員への配付を通して、研究活動の継続化を図った。

3 市小教研が関係した研究会

- (1) 五泉市小学校教育研究会発表会
10月1日(水) 村松小学校
- (2) 五泉市小学校教育研究会・学習指導改善調査研究実践事例報告会
11月19日(水) 橋田小学校

